

総合成績評価

1. 概要

授業科目の学修成果の評価は、試験結果による成績評価と単位認定に基づく。

試験については、座学科目においては筆記試験、実技科目については実技試験をそれぞれ行う。また、出席時間数に基づく受験資格、不正行為の認定と懲戒処分等についても履修規定として定める。

試験結果による成績評価については、S（90点以上）、A（89～80点）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（60点未満）の5段階で行い、Cまでを合格として単位認定することを原則とし、成績評価による最終的な単位認定については、卒業認定会議を経て校長が決定する。

2. 客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要

総合的な学習成果の把握については、成績評価の方法とともに、G P (Grade Point) 及びG P A (Grade Point Average) を用いた客観的な指標による評価方法を行う。

まず、授業科目の試験得点に基づきS、A、B、C、Dの5段階で成績評価を行い、次にこの成績評価を以下の対照に従ってG Pの得点に換算する。

評価点	可否等	成績評価	G P	評価基準
90点以上	合格	S	4.0	学習目標をほぼ完全に達成している。
89～80点	合格	A	3.0	学習目標を相応に達成している。
79～70点	合格	B	2.0	学習目標を相応に達成しているが、不十分な点がある。
69～60点	合格	C	1.0	学習目標の最低限を満たしている。
60点未満	不合格	D	0	学習方法の最低限を満たしていない。

全ての授業科目のG Pから、以下の方法によりG P Aを算出し、各学生の全ての履修に対する総合的な成績評価を行う。

$$G P A = \frac{(\text{授業科目で得た} G P \times \text{授業科目の単位数}) \text{の総和}}{\text{履修登録した授業科目の単位数の総和}}$$

上記で算出したG P Aは学生指導の際の客観的材料としても用いる。